

作成日：2021 年 10 月 01 日
改訂日：----年 一月 一日
(第 1 版)

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称（製品名）	UBEPOL BR シリーズ BR130B, BR13HB, BR150, BR150B, BR15HB, BR150L, BR230, BR360L, BR360B
製品コード	211001JP-01
供給者の会社名称	UBEエラストマー株式会社
住所	東京都港区芝浦 1-2-1 シーバンスN館
担当部門	国内営業グループ
電話番号	03-5419-6167
電子メールアドレス	ube-br@ube-ind.co.jp
緊急連絡電話番号	03-5419-6167（営業時間内のみ連絡可）
推奨用途	タイヤ、HIPS、靴底等
使用上の制限	—
国内製造事業者等の情報	—

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	GHS 分類基準に該当しない。
GHS ラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報 （Hコード）	なし
注意書き（Pコード）	
安全対策	なし
応急措置	なし
保管	なし
廃棄	なし
GHS 分類に関係しない 又は GHS で扱われない 他の危険有害性	消防法の指定可燃物に該当する。
重要な徴候及び想定	情報なし

される非常事態の概要

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	ポリブタジエン
慣用名又は別名	—
化学物質を特定できる 一般的な番号	—
GHS 分類に寄与する成分	

成分（化学名又は一般名）	濃度又は濃度範囲	CAS RN®	官報公示整理番号
ポリブタジエン	≥99 重量%	9003-17-2	化審法：(6)-720 安衛法：既存化学物質

4. 応急措置

吸入した場合	固形物につき吸入することはないが、高温の溶融物から発生するガスを多量に吸入した場合は、直ちに被災者を新鮮な空気のある場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の治療を受ける。
皮膚に付着した場合	必要に応じて接触した箇所を石鹼と水で洗い流す。溶融物が付着した場合には、衣服の上から大量に水をかけ、十分に冷却する。溶着したポリマーや衣服は無理に剥がさないで速やかに医師の診断を受ける。
眼に入った場合	速やかに瞼を開き隅々まで清水で少なくとも 15 分以上洗い流し、眼科医の診察を受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄し、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐かせない。
急性症状及び遅発性 症状の最も重要な 徴候症状	データなし
応急措置をする者の 保護に必要な注意事項	救護者が有害物質に接触しないよう手袋やゴーグルなどの保護具を着用する。
医師に対する特別な 注意事項	データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	注水、泡沫、粉末、二酸化炭素の消火器、防火砂などが有効である。
使ってはならない 消火剤	なし
火災時の特有の危険 有害性	加熱や燃焼により分解し、一酸化炭素などの有害なガスを生じる。
特有の消火方法	消火作業は風上から行い、火災発生場所の周辺に関係者以外の立入り

消火活動を行う者の 特別な保護具及び 予防措置	を禁止する。 熱分解、不完全燃焼により黒煙、一酸化炭素等が発生するので、 防毒マスク、防火服等の保護具を着用する。
-------------------------------	---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意 事項、保護具及び 緊急時措置	物理接触による皮膚の炎症、角膜への刺激・炎症が起こることがある ため、保護めがね、保護手袋の着用を推奨する。
環境に対する注意事項	排水などへ漏出した場合、鳥類、魚類等への悪影響が懸念されるため、 全て回収する。
封じ込め及び浄化の 方法及び機材	飛散したものは掃き集め、適当な容器に回収する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備す る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	混練・加工・成形作業時に揮発分や臭気が発生する可能性があるので、 必要に応じて局所排気装置を使用する。 混練・加工・成形作業中に高剪断がかかる場合、温度の上昇が起こり、 発火の可能性があるので注意する。 重量物取扱いの一般事項を遵守する。
安全取扱注意事項	作業場の整理整頓につとめ、火気をみだりに使用しない。作業後、喫 煙・飲食をする場合は、その前に手をよく洗い、うがいをする。 室内で加熱する時は、十分な換気を行い、火気にも注意する。
接触回避	高温物との接触を避ける。
衛生対策	休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等 をよく洗う。 指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。

保管

安全な保管条件	変質及び異物混入を防止するため、直射日光、水漏れ、高温、低温、 高湿、屋外保管を避ける。屋内保管に際しても、白熱灯、水銀灯など の高温や強い紫外線を出す照明の近くには保管しない。荷崩れ・破袋 防止のため、積み過ぎ・段積みは避ける。熱、火炎、火気、火花及び 静電気蓄積を避ける。
安全な容器包装材料	ポリ袋、紙袋、プラスチック製容器、金属製容器等

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

成分（化学名）	管理濃度 （厚生労働省）	許容濃度 （日本産業衛生学会）	許容濃度 （ACGIH）
ポリブタジエン	未設定	未設定	未設定

設備対策

混練・加工・成形作業中に揮発分や臭気や粉塵が発生する可能性がある
 ので、必要に応じて局所排気等を使用する。
 また、着火源となる静電気にも充分注意する。

保護具

呼吸器用保護具

通常の手扱い時には特に必要はない。

手の保護具

熱せられた製品を取り扱う場合は耐熱手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

通常の手扱いは保護メガネを使用すること。

皮膚及び身体の保護具

身体を覆う衣服を着用すること。

特別な注意事項

—

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	ベール状固体
色	微琥珀色
臭い	微臭あり
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び 沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発 上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	400℃
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に対して不溶
n-オクタノール ／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び ／又は相対密度	0.91g/cm ³ （25℃）
相対ガス密度	データなし

粒子特性	データなし
放射性	データなし
かさ密度	データなし
燃焼持続性	データなし
その他	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	一般的な取扱いにおいて反応性はないと考えられる。
化学的安定性	常温・常圧で安定している。
危険有害反応可能性	標準的条件では危険な反応をしない。
避けるべき条件	高温、高湿、炎、火花、その他の発火源を避けること。
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な 損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は 皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、廃プラスチック類として公認の産業廃棄物処理業者に委託して処理をする。
汚染容器及び包装	樹脂類は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、廃プラスチック類として公認の産業廃棄物処理業者に委託して処理をする。紙類は一般廃棄物として処理できるが、各市町村の指導に従う。

1 4. 輸送上の注意

国連番号	該当しない。
品名（国連輸送名）	なし
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	なし
容器等級	なし
海洋汚染物質	該当しない。
MARPOL 73/78 付属書Ⅱ及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	異物の混入、水漏れ及び直射日光を避けるため、カバーシート等をかけて輸送する。バラ積みする場合は、荷崩れを防ぐためにできるだけ低くして固定する。梱包が破損しないように、乱暴な取り扱いを避ける。
国内規制がある場合の規制情報	イエローカードの携行等を遵守する。 【陸上規制】：消防法（指定可燃物） 【海上規制】：該当しない。 【航空規制】：該当しない。
応急措置指針番号	なし

1 5. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法、化管法）	該当しない。
労働安全衛生法	該当しない。
毒物及び劇物取締法	該当しない。
消防法	指定可燃物（合成樹脂類）
外国為替及び外国貿易法	キャッチオール規制（ゴム及びその製品）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃プラスチック類

16. その他の情報

改版履歴	作成日 2021 年 10 月 01 日：初版
引用文献	製品評価技術基盤機構(NITE)：化学物質情報総合検索システム(CHRIP)
記載内容の取扱い (免責事項)	記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものですので、特別な手扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。